KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

914
1

914
1-3

百九百九十号

八郎潟高岡氏蔵書

秋田叢書

東武の宗匠中は旋と歌
所新しく句二句去三句去
ゆゆしき句数ふ式書に委く
考る所撰也しるす
是別當特誹諧一統の
格式又百韵一句二句の
初句所作也
いろは歌に委くあれ共
言葉はひ有無
雅言を撰ひ
[illegible]

[illegible]
和の新法一代の[illegible]
連歌の新式を言葉と
[illegible]
[illegible]
に[illegible]
是格離の的中[illegible]
全体の俳諧[illegible]
[illegible]
[illegible]

蓋此書ハ祖師貞徳翁の
口授を作り給ふ序を又
こゝに載て之の奉ち
一帙と成ぬ

貞山

元文三戊午春

天保弘化自滝屋



# 誹諧真傘目録


當時句去并句数之事

一 越路ハ分てハ八ツ　二句ハ
ゝ之部立ゝ要し

一 二句去ハ分句ハ二句ハ
紀立ゝ要し

一 三句去ハ分てハ八ツ　ハ二句
ハ
ゝ紀立ゝ要

一 字去ハ分句ハ三句ハ
紀立ゝ要し

一 片去ハ分句ハ五句ハ
紀立ゝ要し

一面云トハ百約ハ面の一ト面と云ふこと
但シ表モ一面裏モ一ト面ト呼ぶ表裏の
面ニハ切ッ[illegible]只一ト面ヲ度ス面の事
一折云トハ百約四折の一ト折と云ふと云
一一ッ二ッ四ッ八ットハ尺〳〵の程を云ふて
百約ニ付テ云ふ
一拍云面云七句云拍折面かゝりてハ
各字ニテ[illegible]二句云三句云ハ
式云式云トハ[illegible]
一訓ニ四ッ有リ拍ハ音ヨリ四ッ有ル
百千万の字の〳〵訓音ヨリ有テハ
面云ル〳〵余ハ可准之 いろは字ニ準ス

一非神 非尺 非人 非点 非極
非山 非居トハ夫〳〵よ不[illegible]
但神トハ神祇の略字
尺トハ釈奠の略字 余准シ知ベシ
一器財よ〳〵付たるの記
一支許よ〳〵付たるの記
一名所よ〳〵付たるの記
一正花非正花の記
一月非月の記
一神祇非神祇の記
一釈奠非釈奠の記
一無常 表傷の記

一述懷懷旧非述懷の部
一恋非恋の部
一人倫非人倫の部
一衣類非衣類の部
一居所非居所の部
一山類非山類の部
一水色非水色の部
一夜分非夜分の部
一四季の詞の部
一雜の詞の部
一季より取捨有る事
一年中諸國祭祀

一句法 宗仙百句 四十四年二候 源氏 茅子
一餘興の事
一同字別吟の事
一付字ト云事
一色紙短冊さく法
一紙筆墨硯の事
一賦物の事
一五義六義の事
一古哲發句
一発句切字の事
一四季發句
一いろは寄せの部

一書々偽亡五ケ條書抜

以上

○漢和和漢の事

大既古書に和れとも考あ
り〳〵て事蒙ひ〳〵し
要〳〵書追る別に申出ス



誹諧其傘巻之上

紅葉山文庫

○行載始記 越婦トハ付て分ケ二句ヲ云也一句デモ捨ル

天象 日月星天虚ホ 紀立ル要ク記ス

降物 雨雪霜露白露ホ 仝

蜂物 雲霞ホ 雲ハ降物ニモ成ル 仝

人倫 古歌人倫恋名ハ分非人倫 仝

食記 飲食行食 仝

旅体 歩行行旅 仝

玄常 長傷行食 仝

衣記 衣ニ神祭ホ 衣ニ拾物 紙帳子ホ 紙ハ分ケ

時分 紙ハ夕夏ニ冬 紙ハ時分ハ夕夕時分ハ冬ハ夕夕

意　二白より五白モ後一白ニテハ不捨
　　三白去ずゝ〜ゝ面時長れハ二白ニテ先ス
　　ゝ

如神　神ニモ釈ゆゝ
　　天紙ハ

○二白去之紙分白より二白種去ス

買色　買色の略ふうゝても不分を里の名
　　ギウ　ヤリテ　アケマホの紙

書体　文字の略　出籍　絵　筆紙
　　文書　筆　墨　硯　おゝ

火体　炉灯　巨燈　火鉢
　　炉　燭　炭竈　おゝ

風体　吹風炉　そうゝ
　　蛍扇　団扇の古ノ寄ホゝ

病体　茶　仏　嚏　入湯　揚ア　療治ホゝ
　　仏　嚏　癒　嚏　揚ア　おハ　非病体

○三白去之紙　三白後一白ニテモ捨

神祇　非神モ紙去ゝ

釋尭　非尺モ紙去ゝ

山紙　非山モ紙去ゝ

水辺　非水モ紙去ゝ

夜分　非夜モ紙去ゝ

居所　二白ニテ先スアリ　紙去ニ出ス　国名　所名

虫紙　虫ニ虫　名ニ名　獣ニ獣　同ゼ紙　三白
　　ゝ〜ゝてハ二白　三白ハ法ゝ〜ゝ

団扇　木ト木　木ト竹　木ト竹　同ジ団扇　三白去リ
　　木ト竹　木ト竹　ゝ〜ゝてハ二白

不高不低団扇　木ニモ竹ニモ二白後　竹ニモ二白去

藤　萩　茶　蕨　団扇　茨　荊　蔦

叉　葡萄　牡丹　山吹　揚ゝしき

外花　外木　ゝこき　木氏の紙

○字去之紙分白より三白

① 色　めでたき色の字三白去
　　余ゝ〜ゝ　訓ゝ〜ゝ　二白　今　入

出八花早晴景張木程
八色强卜時所色問苦
色〻止〻色外元解多十語
近ヲ色近意思小落押
打ワ我ヲ忘成別他
力川風聲色掛方兼做
日吉夜タ立為絵ソ袖
外其語ツ患苦付就諸
次子音十中唱〻唱〻云波
並敬形双ム虫ウ内上
憂語折浦ノ野上〻光〻術

ク景雲蒙来ヤ山止色〻
橋ミ待又ヲ巴色フ振〻
吹涼ヨ心比色木小ム
ヲ有ワ浅沼合扣色
能當カ里先小指ヲ更
キ木際安切消来エ行
ミ石水ヌ又賢ル小紙
変ヒ日人川モ本拍拍
又未住捨之所
五ヲ去之紙
同季 去秋秋二月ヲ五日之歌

麦ト麦　各〻三匁と張。匁ごとに拾ん
但殺匂脱の時ハ見帳麦と張ふへし
麦々の殺匂の時のみ
月ト月　衣ト衣　竹ト竹　田ト田　弧ト弧
麦ト麦　泪ト泪　松ト松　桐ト桐　桃ト桃
ひらがゝ面ゝ〻てハ五匁。右の外五匁去
いろは家ゝ物とゝ分ハ面ゝ〻てハ二匁
みて先ゝ地ゝテの五匁去七匁去面去
打去百匁ニ二四八の内いろは家ゝ麦
一器財器物分そゝ打紙てゝ〻
〻〻〻て別〻〻
○武具ニ武具　家ゝ家ゝ　物ゝ物
○硯ニ机文箱ホ〻同じく二匁去
○武具ニ琴　筆　碁盤　包丁
〻〻ひらがゝてハ分そゝ打紙て分〻
一支拝ニ支拝分そゝ打紙てゝ〻〻〻〻

○歌ニ首目　泉口　耳　額ホ
〻〻同拝打紙ニ始ム
○歌ニ〻　足　爪　指　後　背ホ
〻〻〻てハ分そゝ打紙てゝ〻〻
一名所ニ名所附ニ中　同国同郡ハ
見ゝ〻ゝ面と分ハ国と隔分〻〻
○須ヶ浦ニ石ニ　象潟浮　松島
○庭訓ニ支拝　伊勢　陸奥
〻〻面と庭ニて〻〻〻不付
○但富士山ハ何国の名ゝも分ず

## ○花之部

花四〻打ニ二ツ花の内ハ三匁去
初花　待花　花盛　去の年
花見　去る　花屋　花蘭
花多　去車　花踊　去乃裏

花軍　花笠　花房　花の素
花墨　花袋　花入　花の痕
花瓶　花桶　花生　花の居
花結　花紙　花の山　花の富　花の姉
花の雲　非俗　花の香　非作
花の姿と雲ト見ト見ト見

花の品々 ○

△花の分句に同じ 但具分へし

たとへハ花に虎ト分又虎ト分るもの也

△花に芳野分へし 芳野にもトハ分るし

文城望に萩ハ分 萩に文城望ハ不分

常ハ逆しるへし

△花に梯七句 梯分ハ梯花ハ別 梯花ハ別て不付

△花に名所 名所ハ句 打を降へし

悪所天水 名所日影 余准之

△花に月を詠 月に百句二ツ

△正花 発句 脇 第三 平句

四句目より神祇の句を入る

△花の常座 花に常座を入る

月ハ自然を百句二ケ所 常座

ヲわり口伝と更に

△絶の季の句

○夏の正花 雑花 若葉の句

郭公 名所 名所の句

○秋の正花 花火 踊を花

○冬の正花 炉 二夏句 解花

花見 袋 右の外句より所々に

○雑の正花 花見 元花 落葉

名所 名所の句 余ハ句限に入る

◯非正花分

花の分 名所 漂泊 懸よく 季の除外

花田の常 日影 名所 名所

花座 雑の分 雪の分 庭の分

花壇 花丁子 陽の分 火の分

とうち火の分 除色の分 草色の分

柔の分 名所 名所 名所

名所 名所 名所 名所

名所 名所 名所 名所

名所

花の王 牡丹 花の貴 桜
花の君 蓮 花の戸 菓 花の使者 菓
むの宰相 すいけむ 夕貌 赤橘むれ
紅むれむ 山蘭 花ろくさ 荒
三つのむ 雲 四ろくきのむ 紫陽花 花ろ 紅花 遅咲き
ゆ 沼の むの菌 ゆ 沼の名 石 秋 まのむ ろ
花の里 伊氏の白 阪 ハ 橘
ろ ろの 里 ト云 白 ハ 白
ろ ろの 里 ろ ろ 時 伊氏
ろ ろ ろ ろ ろ
実 ろ 花 ろ 一 木 ゆ 同 時 ト 花 実 ハ
射 ろ ハ 橘 ろ
ろ ろ ハ 実 ろ ろ
枝 ト 実 ハ け 方 鏡 ゆ ん 信 見 ろ

月の名

月 秋く七り面三ツ宛定て出す但若跡
の裏ニハ月なし 独吐ニハ自然ト生する
ろ口伝 和表の月ハ ろ ん 独吐ニハ自
然ニ生ずる口伝

月 月 五月 ち 月の ち 三月 ち く

月次の月ニ三月 青の時ハ二月ち く

○月次ト ハ 年月 卯月 文月 走

月ニ日ニ星ニ年ニ 越ち ん

月ニ泳生 きく く き 師 ち ホ 不姫

月次の月ニハ泳生 きく く き 師 ち ホ 二月

又月 ハ ハ つ き の 月 行 不姫

月代口 ハ 新 二月 ち く

月ニ 花の ち 弥ん 月 打 ち 伊 つ し

立 祈 天 名 西 弥 の 月 も 同 ン

月 捨 文科ト ハ 分 ん ん 文科ニ

おそ〻月八分〻ろ〻ろ〻
月三日乃至分〻ろ〻ん　たゞ〻八月ニ者ト
分又者ト分るゆゑ〻ん
春の月一丁ゑの三ヶ月一丁ゑのゑ昭一
ゑの季の月一ツ上四ツ打ゆる　陵名
○但他の季を見出ゑゝき事ゆゑ一考
秋の月ろ〻ろ〻ゆゑ〻ろ〻
月次の月　心の月　淘の月　月家
生の如の月　寺号　山号　分ゑゝ
新ゑう光ゑう孤八白の月成り　秋
者ゆゑ〻あ〻らゐなくて八非月たゞ〻
弥生新十月新　淘の月　弘ホ八月
星月夜八新光を孤のて非月星の
光りゑいゆゑ〻　名古の時八非歟

○月の名
名月十五夜　三五夜　名る月　陰月

新月　月の弓　月の鈎　比三夜　重月
重新　桂の月　月の鉤　比六夜　既重
育園　今ゑ月　蓄の月　有明　玉兎
婦織新　一撓新　破撓　一撓陰り
破撓新　月の出少　桂の新　比日夜中
栗名月　踏月　月の光　今新の月
始ゑ月　曹　立始月　十九日　居始月　十七日
伏始月　十九日　余八略之
月の姿　秋之　紀白　拭ふ
踏月　月ゑり　重ゑり　紀ハ孤
月の氷り　秋　月の氷ル名　月深ル名
月虎　月ゑゆり　樓新　孟光　皆秋
月明景　明離　明色　有明の入
脚ゑ　皆非歟ゑ之
月ゑゝの神　月ゑゝの文
月始　故新　月ゑ行　非歟

△夏の夜の者 月 ※ 後之夏之非儀
△いさらの月 非十六夜 毎年月
○方祭 山の端よいさらの月を出
始門 ※ 毎年月

## ○神祇之部

伊勢太神宮 日本国中所々大小神社

宮 社仏 社壇 拝殿 当居 神午
社 瑞垣 鳥殿 宮社 鏡宋 千木
祠 祢宜 祢馬 絵る 岩瓜 狗犬
榊 榊丸 三寸 洗米 散米 陽立
榊 榊丸 祢忌 祢宜 瓜玉
贄 御供 祭礼 祢忌 瓜玉
燎 氏祢 祭官 長官 御師 瓜玉
稜 祭主 社家 祢宜 祢宜 祢子
巫 宮司 夏越 夏越

太常舎 彩常舎 放生舎 稚屋作
流广祭 流鏑 末綿巻 小忌衣

清水院 ※ 清水院の
斉 夜 祭の前夜 俗ニヨミヤト云 祢宜
弊幣 紙と弊の如く 大玉串 堅木ニテ作リ 末綿を付ル
軾 祢宜の四方ヨリ 祢宜 祢宜
幣 祢宜 祢宜
上已 抜川上 祢宜 祢宜
おくらさ 丹塗玉を刺紙を幷ル 吉仏文 糸清ル
右之外 ※ 略
○非祢祇之部
得方 年徳 男山 放生川 彩宮
精進 ※ 大 彩田宮 佐保宮
柳子祭 綿付多
以外 ※

○釈教之部

諸佛の名　諸菩薩の名　佛祖之名
諸僧官名　諸仏種の名　法僧法衣
法宗　僧眞　法号　山号　院号　六度　修廻
梅戒　破戒　修行　菱行　臘香　回向
常香　三車　大宅　彼岸　命日　忌日
位牌　菱士　仏事作法之部

○非釈教之部

錫　師兄　卯袋　書記　頑学
醫の官　釈名。在俗の官の釈名
諸職人官の釈名。法市　法服
伝授　検挍　白黄ホ之
煩悩　坊主　高ホ　意ニ任テハ天ぶ
余略之

○無常之部　哀傷　俗家ニテ祀行フ天皇ノ事ヲ

多辺空　仇辺空　三途川　灰岩
空さし　説教　ろせ川　死人
地獄道　白骨　冥途　黄泉
蠟燭　人魂　中陰　周忌　中陰　追悼
追善　脱功　幽霊　棺　龕

○述懐

述懐　懐旧之部

老　白髮　眉の雪　髮
貧　貧人　ちぢめる　恥を棄　寡
倦怠　結子　苦の海　不仕合　苦
病　乞食　世を捨る　仏事作法
○非述懐之部

忘　物　元　山物　耐義　聾女
物の義　茂賣の義　茂の居　余略之

## ○戀之部

恋　独孫文中云　床入　福和流
悦　二尼源侍　新枕　孫乱髪
思　身匂　髪風目　お床　ふし所
麻非　二心　妬　敬芳　記念　眉の烟
咽　二枕　侍　柳腮　虫下　恒月足
抱　〆立　悦　恨絵　ふ好ミ
文　新面　咒　陽女　姿足　わ〻衆
書　振袖　色　枕香　黄遣　幸陸芳
毒　脱浩　ゐ　九額　七居　十寸鏡
寡　燭祭　孤　如粉　ふ粉
腐　水抗　悔　妻　行　占　傳土
いも　ゆゝ　仇〻　文九　老子
女房　目元の恨　おゝ　獨元　振ん
せゐ　近ゆ　思ゆ　思さゆ　密文　入聟



内義　唐世話　寺小姓　初恋　薄子
千話事　更女の名　文姫妹脊の中
栄中庄　元乃粕　身猶と焦ス思ヒ
揚屋の平仮　拙女也　戸の詞
口説ゆゝ意　俵城町の名所
右之外繁多なれども略ス

## ○非恋之部

髪　思髪　不孫　宿執　天乙女　常
後　繁後　伽羅　三線　猶の女　蓋
歌　中居　半姙　市女　学の文　旧
庄　下女　聲女　怪家　陸世　振
又孫　迂消　奥拓　乳母　乙ゝ
猿の文　猿の髪　名示の女　早乙女
日月星仏を行
右ハ恋ゝあらぬ心ゆゝ

○人倫之部

祖父　父　兄　姉　我　妻　子　孫　孫
祖母　母　弟　妹　妻　子　孫　孫
伯父　姨　舅　舅　父　親　母　房　夫
伯母　姪　姑　舅　姨　従　弟

△聖賢の名　△僧侶師の名
△実名俗名　△傾城白拍子の名
山伏時宗等之人し

○非人倫之部

帝　皇女　本院　新院　仙洞　太子
宮　親王　門跡　大君　仙人　人間
一門　儿夫　眷屬　大臣　新兵衛尉
典業　外科　本尼　針医　老者　入道
俗　百性　旦那　不仁　唖　聾　盲

官名　苗字。釈迦師の名。僧侶の実名
△師　医師　仏師　絵師　連師　歌師　等　△者　医者　僧侶　仏者　歌者
実名無し時分皆非人僧之
右之外想名多有之略之

○居所之部

家屋　宿　菴　書院　廊下
寮　囲　亭　楼　小屋　博風　床
竈　炉　壁　窓　鴨居　敷居　庇
礎　塀　棟　甍　天井　庇　軒
廊　國　園　梁　玄関　余者之類
○居所用　不居所用　井戸　越路之部
村里　築山　陸田　泉水　路沢
屋戸　外面　井戸　井筒　肖戸
屋敷　屋敷　翠簾　暖屋　桐子　土蔵
町　但居住ハ非居所　庭　居所所用

右居所用数〻ありて始め
柱 古ハ非居所といへども居所に用へし
数柱 掘柱ハ居にあらん

◇非居所部

内裏 皇居 御所 御殿ホの名
神社 宮 社 玉垣 穂屋作ホ
仏閣 堂 塔 伽藍 方丈ホ
多古 千里 市場 軍場 鞠場ホ

◇山類之部

峯 嶽 沮 油 谷 溪 峠 藤
坂 高坂 尾上 九折 山路 山路
山有関 逢坂 足柄 不破 白川 かるさくり 黒崎の崎

◇山部 十五部

岡 崎 浦 泊 浜 磯 名所の実

◇非山部之部

吉野 熊野 淀川 仙人 淀路川
三島 越路 泊瀬 仙人 淀津川
氷室 山鳥 山多 山路 淀津瀬
山桃 山梨 於田川 蓬が杣 余准之

◇衣服之部

蓑 小袖 衣蓑 狩衣 裕 白妙垢
被 下衣 清絹 紙子 神 黄土垢
被 帽子 草履 浴衣 社 麁布
襦 衣数 袖口 布子

◇非衣服之部

褥 袞 素襖 指衣 褐 宿直衣
袍 直衣 袴 奴袴 甲 三尺の拭

帯　緋袴　紐袴　白浅葱　長絹
衣　袈裟　浄衣　袖衣　帽　武具
褌　十徳　上下　肩衣　蓑　刀巾
笠　紙帽子　帽子　襟巻　うつしゑ
足袋　脚絆　房衣　素襖　蓑衣
裙　萩衣。右官服　条衣　偽衣　喪服
礼服　ホ皆非衣類　余写

◎水辺之部

海浦　淀川　江　池　沢　堀　流木
淀　淀潮　汀　磯　洲　澪　浪
関　関守　浪　泡　飛沫　杜若
澎湃　檜　筏　極　免　流　溝　井戸
西方　漁火　蛇籠　水屑　葦　萩
須磨　明石　松浦　海苔　貝類
菖蒲　魚名　海具　舟の法乃り
多多名　海鳥の名　余写

◎非水辺之部

天の川　檜　夏の川　檜　白川の関
月の出汐　室の八島　難波寺
なみこの関　野の玉川　かさき橋
布さらし　志賀の松　ぐひ川
三川七川　魚の網　墓の上突
砧多　天多　忌松　氷柱　管屋
于魚　于貝　苗代田　垣　余写

◎夜分之部

月　星　曙　育　暗　蚊帳
蚊帳　松　新　炬燵　蛍　暁　明星
月待　七夕　銀河　横雲　東雲
稲妻　行灯　文殻　明方　鶏舟
汐焼　初鶏　鶏川　明鳥　蚊帳

燒殺 挑灯 燭灯 紙燭 燭屋
死火 蠟燭 短檠 の燭 庶云
仮庶 居眠 夜長 灯明 送り火
除夕 化物 幽霊 歌舞 辻君
三日月入 星を唱 衣く 牧屋
傷士れ燒火 但吉の市 室の市 氏
追儺 邪やいらい 除夜 大晦日
夏の挑

◆非夜分新

蝗 泊 竈 蝗虫の変 芦火
三ケ月出 今日の月 新月
星の月 書の月 夕月夜
明るくれ 夜の入 残る月
常燒 夏祝 夏幼 星月夜 名石ハ第ニ新星
右〻外 〻〻〻〻〻〻〻〻

○四季〻〻詞

春

大皇帝 勾芒 神 蒼天
東君 青陽 初陽
立春 雨水中
大寒は

正月 孟春 正月 陬月 端月
孟春 夏正 陬月 端月
睦月 いさらい月 古郡月 初元月
元日 元旦 元三 年の始 日の始 元旦 正旦
物旦 東方朝ぶ台 三日台 四日台 羊 五日台 牛 六日台 馬 七日台 物 二日台 犬 正月一日台 鶏
改旦 新春 年始 年始 叔氣
新年 慶新 甫年 改年 望歳
三始 三始 三元 履端 新正
永代の春 若々の春 代の春 花の春
久の春 若の春 四方の春 春の春
ひさの春 日の始 春の始 春の年 春の年
若き年 年の花 後の年 元日春
あらたの年 年の春 年立つる 年のうち

凍氷の毎初　こまろる事　去年今年
初空　初霞　初雲　初鶯　初鶴
鶯囀　氷の掾　腰布鶴　硫黄鶴　和刻吉野
の土民年始に禁屋にて琴を弄ぶ笛
若水　井花水　三物連歌　同俳諧
年玉　年男　年徳　元方　門の祝樹
庭竈　幸籠　菜盆子　大ふく
屠蘇　白蒸　庭竈　ちさごう　えびす
門松　立松　いそつむ　えびす　いも上ん
福茶　福縄　掛鯛　太箸　歯固
新煮　芋改　芋煮　大こん　大根
かく餅　ちちわの焼　かんを抜み
蓬莱　蓬莱飾　ゆや　ちゃ棚　ちゃ棚　ところ
掛引　ちゃ棚　ちゃ棚　ちゃ棚　ちゃ棚
飾とすれば　ちゃ棚　ちゃ棚　ちゃ棚　ちゃ棚
うゝ白　橙花　嗜酒　山茶　歯朶
大飾　松竹炭　撰　親子茶　稲束
いろ飾　松竹炭　撰　親子茶　稲束
　　縄　注連飾

み青　数の子　海鼠の子　押鮎
俵子　ちゝのこ　雨水　牛蒡　鮑節
夕節　御菜　葩　鮑大黄　鮑熨斗
初春に大くの鮑と鮭と貝寅人年中
ちゝのこ出さゝるこうひろさ　ちゝのこ
若布昆布　大こん　山万歳　星仏
子ぢの万歳　万歳　万歳楽　走馬
えびす　水祝　水わびせ　宝引
祝川　玉子　結昆布　こぶ板
こぶ板　ちゝこぶ　ちゝこぶ　くまこ
くまこ　弓始　みかう初　元旦始
きそ始　陽炎始　吉出始　去年始
掌始　試毫　試筆　風初　楽初
弾初　吹初　〇以上歳旦之
節振舞　節小袖　家旦完　初芝居
松新　若候　店卸　懐ぎ　懐ぎ
花宴　初商　賣初　芋初　松の内

たゝの門　たゝみ　以上歳立次
舟玉ゑふ　二日　初寅　くるま　番卸　二日
初卯　住吉　卯杖　上卯　子の日　上子
小松引　上子　福ねうし　四日　院宴　日
六日年越　人日　七日　若菜　忘ぐ梅
をちぐさ　梅　坂菜　梅　箕面寓　さる
白馬節会　七日ノ夜禁庭（白馬を牽参ずる青色のなり白い法ち八陽明合祈を行ふ白をわきて昌ノ）
七種　芹　菘　鼠麹草　俗母子草　蘿蔔　俗大根　蔓菁
御薪　俗田平子　菘　俗水菜
白紙　九日　十日　比次　今文　絲石　十日　多
外官ノ　改文　十日　連歌　十一日　武家院宴　十日　懸鞠
除目ノ　改目ノ　十日　土竜打　十四日　細川　十九日
市陸奥　十一日　宮中年始　十日　懸鞠
左義長　十五日　繰作　吉去上　小豆粥を祭ル
市彩　十五日　粥木　ゆの枝　ゆの枝
粥占　十五日　男多平忌　三條系　十五日　上元　十五日
繼欲　男タウカ十五日　女タウカ十六日　かさ〜の節　日　やぶ入　十六日



六候　同上　和州　厄神系　十九日　吉田信稜　十九日
市忌　十五日分　十五日　宵宮　十日　初天神　十五日
初不動　十八日　○　踏氷　踏雪　凝冬
深雪　餅　十五日　今年　今年
小菊　梅　梅　梅　梅の花　枝の花
木の芽　蕨　蕨　土筆　蕨
蕗の芽　号の芽　藕を掘　地大根
掘入　田とすく　畑　畑　畑打　畑初
山笑　山山　鶯の鳴　鶯の鳴　鶯の鳴
猫恋　猫　猫さかる　猫さかる　白魚
仮帳　わさび　○　佐保姫　二十六日
永日　永日　日和　水和　風和
風光　陽炎　東風　霞　朧月
春雨　陽炎　東風　遊糸　長閑
ぬくい　ゆるむ　暖　維　水温む

多勢　百千鳥　囀る　鶯　雲雀　鷓鴣　鶺鴒　鵯　目指ス　海苔　海髮　海髮す　蛤　干鱈　目指ス　海苔　海髮　海苔　海髮　海苔　海髮

和花　花と俗　接穂　接木　蕊
蕊ノ菜　ふかよる　かゝる　たこ　ちは
吸原　川蝦　川鴨　杠　花　孕雀
雀子　雉子　初雷　虫出ル　地垂
地虫の穴出を知　蝶　蛇　蜂　冬菜　蛭
冬の菜　冬古菜　孕麻　麻の角落
田植　焼　青虫　ろ刀　とろこ
桃の子　桃　姑洗律　清明　穀雨
三月　季子　竹秋　窮月　淡月
季子　竹秋　窮月　淡月
やよひ　桜月　花月　桜月
種供　天王寺　竜食　桃の粥　杏粥
上巳　元巳　重三　上除　桃の節
桃節供　柳ろ〳〵　菱の餌　菱の餌
蓬餅　母子餅　巳の日の餅　巳の日の餅
鶯谷　雛祭　ひな祭　ひな飾　歌ろ

立雛　曲水　像盃　巳字盃　孔雀花
汐干　住吉　加茂　石川　上左　蛤ろ　石山寺　三月
る旅は花含む十日　やよ〳〵ひ花　月上
吾妻是十四日　壬生念仏　十四日　壬生
柳若葉十五日　さら大念仏　十五日　人形寺　十五日
歳菜　十八日　三社　よか念仏　中旬　稲荷の八中午
南寺中午　市子祭　十九日　五　新供　廿一日
南寺　仁和寺　仁和寺　旅の安居　廿一日
朝鼓　小弓川　ちゝを張
水の菜　竹入の秋　竹迷ハ山路　ちゝを張
黄むの子　ちゝをの雲　花ちゝを
黄むの子　ちゝをの雲　ぬるむ　梯
黄梅の子　八重梅の子　菜摘　菜柳
油菜　菜摘　菜柳
杏子の実　林檎の実　梯　桃の実　桃の実
梨の実　枇杷の実　い梅の実　石竜の実
楊梅の実　る辛夷　木の花　木瓜の花

木蓮の花　辛夷　紫玉　沉丁花
大橘　庵橘　踏石　令法　レウフ
梅　通草の実　小柔毛　小女郎　歌冬
連翹　種芳の実　ひらい草　東菜
仙茅　萩　ちぢ草　ホクロ草の実　九輪草
七年花　金風花　千子草　ちひ紙
けまん　金満草　母子草　ゴ蓬
橘姫　菫　眉作の実　立浪　黄花
菜種なる　ちりく　若葉竹　若葉
菜橘　きく菜　橘うこひ　橘魚　橘鯛
橘貝　柳絮　柳の芽魚　小鮎　上り竹
蚕　新菜橘　蜆　ゆるの実　春の菜
鄙の菜　鄙の菜　あひふ　若の菜
ぼうすの　ちゝみ入る　引網　山吹衣
裏山吹　橘市　ほうし　山吹衣
忘れ草　炉火燵を塞ぐ　八十八夜
三月尽



ちゝふ　ちゝ
ちゝの涙　ちゝの別　ちゝ落き　ちゝ苦く
行ちゝ　ちゝの名残　ちゝの淚　ちゝうて
ちゝと情ム　ちゝうり　麦近き
麦と儀　麦と仏

裏

四月　仲呂　律　立夏　市　小満　中
孟夏　蹊蹊　余月　皐月
卯月　うの月　皐月　とこと八月
更衣　白衣　卯の月衣　袷　衣
初ひら　ちひ　紙衣　四季共ニ袋　四季共ニ袋
青麦　下市　端午の節句　一日
住吉卯祭　上卯　大津祭　上申　山伏の使　三日
水屋の祝　二日　五日　灌仏　八日　浴仏　日

秋花含日　秋の春陽日
土香水日　麥入日　花揚日　蟬　春の嘶入日
地蜘蛛　九月　水　涼代　十四日　土塔　十五日
子供子　十六日　三井寺　月光祭　十七日　和歌祭　十七日
山王祭　中申　日吉祭　国祭　仲申
蓼祭　中酉　蓼　酉　酉日

○神祭　榊　大矢数
能　若葉　木の下蔭
新樹　若葉　楓　孫の葉
卯の花　楊梅　夏枯の花　柏
榜の花　橘　柿　山吉の花
樓桐の花　藤の花　藤の花
岩梨　岩茸　白丁花　要の花
杜丹　芍薬　杜若　菖蒲　華
薔薇　天蓼　苺　菱　角菱
蓼　蓼人参　きくちゃく

ちゃう　一八　蕙　ほたる　風鈴
蒲の穂　きりぎりすの声　蟬の声　蛍の声
蛍籠の声　茶摘　麦刈　夏人参の花
大の林　玉蜀黍　筍　むかで　芭蕉　すのこ
苔の花　苔の花　蒲の穂　蒲の穂
麦の秋風　麦苅　きりぎりす　麦ふる笛
蕨糸蕨　蕨　郭公　ふくろう　花火
蝿の声　蚊の蝿　蝿の声　かさのこ
鄙の田　初鰹　生姜　麻の代衣角
松ふるる　○　扇　団　木布
さらし　麻　麻の織　汗　汗拭
昼　涼　昼寝　夜　絽　編笠
日傘　新茶　古茶　麦粉　新麦
切麦　冷汁　麦湯　水練
水練　干鱈　干鱈　鰹　鰹
恵島鰹　鮎　鮎　洗鯉　洗鯉
奥深

子又　蚤　蜘　蚊　蚊屋　蠅　蠅虎
蛭　蚯蚓　蚰蜒　蝸牛　蛞蝓　蛍
蝦蟇　きと格　通し鴨　ぐん
きと湾　多忘草　麦籾り　麦籾
麦刈　麦出ス　麦蒔　麦も　一麦
きと山拼　刈麦　るる歯黄　若麦
落　藤　藤　根　根芋　芋のこる
苔　松　ふり千
五月　蒙賓　芒種　夏至
仲麦　茂林　皐月　落月
さ月　さる月　槍月　月入夜月
賀茂足場　同競馬　生玉流鏑
端午　端五　重五　菖蒲人
粽　飾　貴　刈菖蒲の貴　幟飾
あやめ川　同菖　同ほろ　同鳳
同机　ちまきぶ法表　同刀　同湯

永棟　苗ふ　棟ふ　棟の佩
茅巻　煙金鍋　月の玉　月後
茅巻　茅茅川　競弧　百足蛾
茅川　いちりの日　競渡　水る
下地手　苗苗蒲　菖蒲　菖蒲湯
手植　十三日　住吉御田　八日　御田扇　山田
ちぐちぐ　冊子の玉ふ　吉作ノ宮　系図スルーく　虎渡面
紙蓮　祇園祭　すす麦生　麦圭　十一日目　市三俵
○帷子　作ちまる　かちひ　非正
屏　今年竹　若竹　苗　早苗
田植　早乙女　田歌　棟も　梅植も
柳の芯　石榴の芯　栗の芯　合歓の芯
天南星　山梔子の芯　さるとり　のくな
五月作り　南天の芯　赤夾柳　茂の芯
金沢花　柘子　常夏　石竹　百合
玉結び　栄花井　四ひらの花　麦秋

[illegible]菜　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]

[illegible]　紀州涼日　庵信涼　六月雑部
形代　極初　川社　名越の祓　あふこの祓
夕祓　水祓川　そうひの音　爰貴　黄の粉
麻の上流　菱沐浴　○　暑暗涼
涼涼　風うけける　雲の峯　雲の峯
白扇　極暑　日盛　炎天　三伏
別涼　泉　泉水　陸奥
清みうと　日陰　日ヤ　日汲
井戸入　さ井　水うけ石　永極
川狩　結氷　水毋　ひうう虫
孫う雲雀　火鳥　火うう虫　毛虫　螺
蟬　蟬の抜殻　元悔　蜉の脱　蝿
竹の皮ぬく　百日紅　衾干　ひあふき
きうん草　蓮　水芙蓉　日上　慈姑
赤茅　夕良　旋花　蜀の心　麦青む
風蓮　虎の目の心　眼皮　暑ま

[illegible]　菖の茅　菖の花　橘の花　張まさま
弾の花　蒲の穂　田植　霍乱
菱刈　益川　白麻刈　麻引　麻
掃麻　菱刈の糸　若苔の子　若苔
番椒　鬼灯　蒜の根　きさけ
苑　若根　千瓜　姫瓜　瓜　高菜
白地天　葉瓜　熟瓜　球檳　彩千瓜
千瓜　赤唐辛子　豆住　陶作
麦切茶　麦切茶　年内　麻地
洗仮　水仮　引仮　水の移　砂掘水
菖水　心太　江戸　初鰹　六月十五日
夜鮫　仲陰　大昔の[illegible]　料理
[illegible]　[illegible]
抱鶏　竹婦人　竹奴　蛇る　蕈
麦刈　霍乱　香薷散　土用干
虫干　虫拂　掛香　麦蒔

夏深き　夏の別　夏ふかし　夏の限り
夏ふかゝは　夏をこめて　夏ごもり
夏を送る　夏暮る　秋を待　秋近き
秋を待

## 秋

少皞帝　蓐收神
昊天　白藏　金商

七月　夷則　律　立秋　處暑中
孟秋　初秋　相月　葉月
初月　初々月　女郎月　新月
餞暑　一日　新小涼　初て涼　名の秋
七夕の秋　初秋　立秋　末つ秋　秋の初風
一葉初　小暑の節の水　日社檀の燎れ　七日
諸事終　暑　一日　十五日　机洗ひ　硯洗ひ
星夕　七日　七夕　二星　星合　牛女
乗牛　織女　彦星　六角星　角宿
七夕　七夕　星の祭り　七夕つめ



百子帳　高織帳
紙衣帳　桃の花帳　さゝ帳　秋立帳
天の川　紙の川　紙流し　星河
おさふの檜　鶴の檜　高鶴檜　年の波
七箇の池　百子池　書迎丹　書こう永
七夕の丹　乞巧奠　乞巧針　星祭
星の宮　紙の糸　星の芝　秋立衣
庭の立花　星つゝ初　桃の花　草の露
花合　井鞠　池の防立花　七夕　七夕
嵯入　逆の嵯　氏入　氏山八七月　蔦山八八月　入
嵯八　水の嵯　嵯ト云　水迎八山　踏ヲ　ト云
文珠会　八月　六月　六月　迎ひ陸月
陸ものゝ日　清十日　迎ひ　月
高灯籠　盆灯　盆市　盆の茶屋
盆　盆灯　日　迎ひ火　くゝ盆
盆棚　掛志麦　麻ゝ茶　月棚　灵祭　月棚　蘭盆
水の茶　盆供　枝立　枝ゝ　茶ゝ　茶の

まつ拵 祭ル僧トすれハ魚是 灯籠 切りこ 踊
中元十五日 生身魂 蓮の飯 刺鉢
三井寺 女清十五日 麦七夕 亀菱
水灯会 送り火 大文字の火 十六日
多賀火 多賀 舟形の火 舟 松明火 松明
野良踊 松明 灯籠踊 長谷 踊太鼓 長井
鳴子 ほと入 十六日 伊勢ニテ太夫ヲ上として 素麺紙 素麺ハ白ク ろくろ引 盆
ほとゝぎす 九月の四ツ ハ十八日 鶯の巣ハ 十八日
電山火 十三日 地蔵祭 日 花の前使 物使 御殿
○蹴鞠 ひやうう 扇子 団扇
拵物 門柔 花火 稲妻 焼米
田畑の虫送り 次麦 ゆる麦 あら麦
柯 楸 拵 拵 楓 吉 楓
萩 菓 樫 桔梗 沢桔梗 女郎花
柔の花 男郎花 仙翁花 紅葉 菓
菊 菓師 貴切子 風仙花



益母草 旋覆花 女郎花 やいとゝ
曼陀羅花 常山の花 月虫 木槿
若葉の花 うちわの花 葛花 蒲萄
ひかりの日 桃の実 本瓜の実 沢瀉
沢瀉 芭蕉の実の花 ちゝこ 又兵の実
青瓢 西瓜 わらゝ 粟 粟稗
稗の実 仙翁の花 稗の花 早稲
二百十日 穂の山別 穂 穂
竹の花 竹の花 蚕 蛍 蛍燈
蛍燈 秋海棠 ○三秋 吉田姫 子秋
律の子 蓼 蓼 蓼 蓼
月の雪 雪 月の様の有 脳
月次 新月 弦月 月 椎茸
椎の茸 柘 萩 萩 芭蕉
無花果 花瓢 芋花 芋 芋の葉
芋の葉 芋の葉 芋の葉 蓮の実
蓮の花

唐辛子 秋の戸 くさ づ
太子草 萩の戸 布袋 南瓜 冬瓜
彩番椒 若たて 草藍 葛花
薑 牛蒡 川芋
菓 棟 毛梨 木梨 ゑ梨 新米
あし 朱 稲 田刈 日干 日あく
稲 田の色 田の唐 小田守 ちらぐ
鳴子 鳴子草 落水 引板 くし
新米 新酒 木ゝ ゑ反 ゑ〜ふく
蜜虫 蜜丁 紅虫の声 みを鳴
この虫の姿 小蟹 鳴 百舌鳥
鶉衣 鶉の羽 寒蟬 蟬
江鮒 刈乾 鯛川 小鯛 裂鯛
鮒やな 鮒吹 おとし
八月 南呂 白露 秋分
仲秋 竹春 壯月 桂月

七月 秋風月 月見月 丁未月
八朔 たのもの祝い 田の実 緑雀
綿行器 司百十日 名月十五日 名月十四日 小月月
名月 名月 あらの月 月見
名の月 月 年名月 三五の夜 五月
七夕 地口 八幡祭 十五日
菩薩祭 秋社 秋分近き 敬生舎 弱逆
初汐 野分 ○ わあ〜
磯 ちろり 接衣 衣手 猿蓑
長夜 敗荷 名木の実 登山の色
杜冊の根分 初茸 蓮糸 梅花
木芙蓉 木犀 桂の花 梅もどき
紫紅 檀 根分 ちろいの花 花
馬酔 苅萱 夢 月見花 尾花
花 宮居の花 宮居の花

ゆうぜん　ユヤミクサ　オモヒクサ　とろのむ　鳥の子の花
漆の花　菫の花　菫の実　月桂　木槿川
蕎麦の花　芦の花　月桂　木槿川
菊ちる　苦参ちる　たうがらし　茉莉
萱川　新刈安　石榴　沉香の実
茴香の実　萱草の実　通草　天瓜
秋ふくべ　菱ふる　木の子　くさぐさ　草
毛ん　中稲　芦穂　稲米　月桂
稲庭　稲掛　八束穂　栗拾ひ　苏子
幸菜葉　大根を府　小蕎　ほまを
ろひな　中ぬき大根　唐　後朝　菱喰
蕎麦　稲頂ゑ　紅ゑ後ル　小ゑ後ル
色ゑ　鶉　こうこう　山雀　四十花
五十花　ひこうこう　まことかあろ　ろうろ
ろろ　月ろろ　鶉　搗栗　まんぢく
啄木ゑ　菓ひてた　ひくゑ　まあろ

あろ　ひさき　木兎　紬　似苺子
江紬　かごろ月　太刀魚　えび紙
落紙　ひりやな　鞆　蛇穴入ル　彩画
あくびや　中汲み　とろろ　除礫漉
九月　無射律　寒露　霜降中
季秋　紅樹　菓月　玄月
ろう月　稔の秋　紅葉月　小田刈月
桂の宮のお撲　八日　舎利会　八日　泉涌ち
重陽　九日　京九　三菓節供　栗節句
九日小祝　あてめ西　菓西　菓祝
菓のさせ紙　月の雛　雛まり
菓黄袋　くくりの佩　月日の菓　十日
鶴る赤　九日　麦布紙赤　九日　生玉祭　九日　大阪
殿御赤　九日　四の宮赤　十日　足袋のくきわ月
不断田の麦　七日　市香の宮赤　九日
下ゑ後赤　十日　例幣　十二日　九殿の候　十二日　長崎赤

宝の市 十三日 仕舞 外の市 日 白川市 十三日
後の名月 十三日 栗名月 日 豆の月見 日
二夜の月 日 後の月 日 月の名残 日
念仏会 十五日 天王寺 栗田口市 日 祇田祭 日 牛戸
昆沽祭 十九日 東山 大奏の牛祭 日 祇園祭 日 俗生 妻戸会
渡会新嘗会 ワタラヒノニイナメ 宇佐 宮 十七日 吳服祭 十分
八幡宮 十八日 長崎 と称 渡利女祭 十八日 住吉祭 十二日
康谷祭 十四日 延暦祭 十四日 天満宮流燈 十五日
住吉神送 十日 野宮の別 桂川の九月
伊勢の遷宮 ○ 稾 孤稾 ふるかう
仙菱 鶴上戸 南天の実 だもの実
西河子 菩提子 昆梨の実 榎の実
柿の実 を母亲の実 椎の実 椋の実
梅擬の実 朔池の実 栗 榛 榛
椎 椋栗 彩椎 彩松桃 彩松子
ふ赤 茱萸 ふくん 佛の桂 桂 桂

柱 ふそ 弓 樹 柳 鳥樹 蘭
色々ぬ松 紅葉 楓 梅 柳 白楓 赤 蘭 ちちちちちち
山桜 地山の紅 茅の色紅 うつ 枯
枯茅の穂 枯野ふむ 穂ふ穂ふ穂ふ穂ふ穂ふ 秋
落ちる 芦の子 枯芦 破芭蕉
豆小豆 ぶんぶを川 蕎麦刈 彩ちた
亜稲 晩田 ひつち田 ぬ〜〜 水 穂
穂時雨 霜踏麻 尾越の鴨 石蕗 朝
綱引 綱 冠毛栗 綱代 打 番 綿
裏 丹 九月尽 秋 ゐて 秋ゐて 秋ゐて 後
秋を惜る 秋ゐ後〜〜 秋ちり後
暮の秋 切秋 秋の哀 秋の名残 秋の侘
秋を惜む 秋源 秋の淋 ぞ近き ぞと約
ぞと懐

冬

顓頊帝　玄冥神
上天　元英　羽音

十月　應鐘律　立冬節　小雪中
孟冬　折木　陽月　良月
かんなづき　小春月　時雨月　初霜月

神送一日　神旅　神の留る　炉開キ
玄猪　亥日　月俳　孫ハ多ク子ハ老ス　仍て孫ノ栄ヲ祝ス　建子忌　十日
十夜　六日ヨリ十五日ニ　真言宗ノ法花会　六日　念仏宗ノ法花会　十日
作り会　十日　九条講　十三日　日蓮宗　下元　十五日
聖一忌　十六日　高野聖　九日　踏ミ多　十日上
大社神ヲ中ス　神集ル　神在ル　神送ル　十日
おくれ越シ　二向宗　○茶ノ口切　初茶
時雨　初時雨　初茶湯　初氷
初氷　冬籠　大芝の虫　竜の巣　蓼の虫
八ツの虫　紫花　ゆりの虫　正花之位ノ花ハ雖ドモ　なゆりの木花ハ雖ドモ

冬籠　枇杷の花　菊紅葉　名残の花
菓萩萩落　葛の花ノ枯ル　木枯　号の風
○　三冬　寒炭　寒　氷　霙　霰
炭　かくい　炭屋　炭取　炭俵　炭炉　火鉢
火燵　炉　火桶　火箸　火鉢　火陽　陽婆　脇　戦　水洟
食　蒲団　夜巾　綿帽子　袖子　紙子
ねまき　浮寝　浮月　寒き　大根
胡蘆　菫菜　菫湯　葱　葱坊主　干
干菜汁　蜜柑　水仙花　枯芦
枯柳　木の葉　枯葉　枯芝　くさ花
名残　寒　仁徳天皇の御宇ノ庚辰ノ歌　皇氏
紙ヲ以テ作ル物ノ総名　力茶　寒ル者ヲ以テ故ニ皇氏ノ歌ヲ以テ作ル物ノ名ト
紙ヲ以テ作ル物ノ名ト　竹木ヲ以テ作ル物ノ名ト　寒の道　物
追ひ物　鼠　鴨　小鴨　羽白　水鳥
冬寝　子寝　氷魚　栄養　綱代

作芋　七月十六日　そうめん　金こ　結
塩鯖　石花　うるめ　鰹　鮫皮ぐ
紙　絲　ユフト　雀ー　稷　モリワク　寒　絲と寒作ル　赤貝
扇焼　鯛焼　鯛豆けし　サヒ大根のふろ吹
そそ湯　七義酒　玉子酒　麦酒　奥酒　奥酒
十一月　黄鐘律　大雪節　冬至中
仲冬　周正　復月　暢月
志も月　赤降月　神乗月　竜天月
お霜条　上卯　大和住吉大神宮　宅師　忌師　菊末
鴨　紀伊国　日吉神　絲至各支帯と
豊明節会　中辰　為年ノ稲ヲ神ニ奉リ　臣モ同ジク
吹華条　八日　寅也忌　十三日　子条　甲子
子灯心月上　髮置　十五日　袴着　帳初日
乃信神　十六日　小忌衣　山藍の紐
天王寺　日蔵の如く　日蔵の糸　神糸　小条　下申
報恩講　廿二日方廿八日　大師講　廿四日　天公日大師ノ
午一向宗　命日ク
ウ賀神条　廿八日　里神糸　九大焼

○かぶきを物　月見団子　ゆ玉　梅
香奠　御叩　ちぐ物　焼さ物
焼き物　お屠ホ水　氷柱　竜水
竜焼　竜ホ　竜柱　ちまき　数
竜車　楼　竜巻　保美キ　杜丈魚
御ー　竜苔　ぬくら　竜を来、竜の小きを
ちくして　おそろし
ちをあてめ　羽咬　ひる　花　花の枝を　拾ひ
炭ひて　放きん　ひる　花　花多の枝を　拾ひ
と　竜　ス　冬　言中ハ　拾ひ　ひるー　己ひ
トウ　七姜

十二月　大呂律　小寒節　大寒中
季子冬　殷正　臘月　極月
志ノ月　三月　梅月　梅月　志ノ月
臘梅　早梅　ま梅　竜竹　孟宗竹
ミのちぐ　紅ち　八月　紅ち　煤掃
鯛味噌　ちぐ紅　茶飲　御ろう
豆腐　ホやくを　水ら　竜ちち
竜作り　竜垢離　竜ちち　声ちち

乙子の百　門松　小晦　正月事始　十三日　関東八州

晦八ツ　晦日中ニ近キ夜ノ日　佛名　十一日ヨリ一日マテ　極楽ニテ法佛ノ名

嘉元仁帝寛亀五年ヨリ始　ろけ弥　仏名師家　大灯　十二日　大徳寺

年門立春　歌始　寝　ねんぐの御大宗　歌始寝堂ニテ男女通夜スルヲ之

節分　年越ヲ　除夜　追儺　おにやらい　なやらう

豆ヲ西ニ　赤豆　福豆　鬼ヤラフ　撒らう

鰯さし　宝舟　鏃　月札　厄ヤク　厄ヤラフ

厄祓ヒ　恵方ヨリ　大年ノ夜ニ寝ネ　上り通し　乳ヒ　ヒトツヤ三ツ　吉ヨトフ

神宮の祭る掛　五日　和布刈神事　七日　ホうり日

五陵天神系　ホうり日

○歳暮　歳末　別歳　守歳　分歳

嘉平　南至　調歳　季末　栗烈

陽向　雑雛　雑乳　年尾　年夜

晩年　除年　終年　暦軸　晩席

年詰り　年詰り　年次の儀

暦の果　日を迎ヒ　古暦

札納メ　夜籠り　年ヨリ内　門松の葉

芸季ハ　うぐひす　来鶯　候突

候ヒ　小晦　大三十日　芸季　年末

年の市　神ノ社　山茶　年の果

行ク年　芸ヒ　年ノ暮　年ノ内

年の路　年の暮　年の名残　年の内

三冬　冬ノ籠　年の名　年の陵

年の果　年ノ暮　年逝　年ノ終

○附り新の词

桂　秋ハ　葉　蕎　蓼　蓼ハ　蓼

芙　林略　朝　鶯　鶯　鶯ハ

蹈　路　鳴　虹　早　雷　電　梶

初風　村雨　清水　蓮　孫　孫ハ

柳　桃　杏子　梅干　梅漬　玉虫　蓑虫

蛍　鳴　蛍　山ノ　新ノ　山ノ　秋

森冷　墓ヲ　掛ヒ　年次　年扇

汁扇 此拍子 麦飯 龍 梅垂 桐垂
房名 一戸 つのひとつ 松の緑 民部卿
秋 拍子
田を作り軍記物 四月第 抽べ
うら梨 蜻の巣 野の後 さるもうち
戸の明る ちるれ物 略の拍子 きも合
能花語系と強きうち 布 織うも
右芸場をちるを余ハるそ〳〵ちうし
一時くの菓木菓部白阪答ハよ拍子を
真季ハ拍子〳〵 極内とのうち
魚多 鮒 おも答ハ ちる季ハ
拍子〳〵生部よあしを
○但正花ハ京地の中一所ハ拍子のみ 秋 妻

◇ 季寸に取捨る事

桃を春とするハ夫々花の黄號物ちかし
桃を秋とするハ花今夫の黄號物ちかし
但花ハ実ハ張ハ句ハ春の真季ハ秋

桂ハ花の外に黄號ハ一面流に秋
峯入 此逆秋二度ハ峯入ハ秋
釈奠 秋二度有 投ハ秋
薮入 秋二度有 投ハ秋
雛 三月 二度有 投ハ秋
九月 ちべて真詮の作ちき方へ引ちく

野々口立圃夜話云七十二候花信詩抄
季桃源ハ取捨ちるを桃源ハ秋
候 蝼蛄鳴ハ菱沼 蛙秋ハ
排 ちもよちく和方に牡丹 花信 棟
こちを連桃ちそ長く叶ちうを
ちして沼方候を引或沼ちそ長れ
季ちるを見出 桃源を沼乱ちべ沼
桃源通用の四季ハ正月元日ハ極月
細く委ハ右ハ記垂ちく不通ちるを沼方候
の季ハ不二用 但本の点板負九通俗志載

# 年中諸国祭礼

○正月

剉掛の神事　流鏑馬　元旦　巳岩寺天狗宴　二日

初卯　住吉　生駒法華寺　茅渟川神事　七日

住吉御弓　十三日　獅子院神事　十四日十五日十六日

花灯夕　十五日灯会初ノ拜ス　三稜祭　十五日

厄祈祭　八幡十九日　敬民將来　吉田法華　十九日

初天神　十五日　初不動　十八日

○二月

春日祭　上申　大原祭　仝　水門祀　初午

摩耶祭　初午　揚列　行基祭　二日　長谷寺　九日ノ

訓授会　九日ノ十五日　常不会　長谷　十五日

紙堂八講　八日　財家長佛　彼岸

○三月

天王寺経供養　三日　栗津祭　三日　一家ノ祭　十日

吉野会式　十日　禮拝講　十二日十三日　長谷寺　十六日

比良祭　十五日　初午会　十六日

○四月

大神祭　上卯　稲荷祭　日　八幡祭　上巳

山科祭　上巳　多賀祭　日　坐田祭　上巳

平野祭　上申　泰平祭　日　杜尾祭　中申

南方祭　上申　南宗祭　上酉　松尾宮祭　上巳

山崎祭　仝　祇田祭　四日　廣瀬　久世祭　中巳

菅宮祭　五月中午　中山祭　中酉　須磨祭　中戌

吉田祭

○五月

松尾祭　五日　葵祭　五日　宇治祀　仝

室祭　十三日　今宮祭　十五日　両社祭　十三日

最勝講　於清涼殿修之

○六月

津島祭　祇園祭　十四日　十五日　祇田祭　十日

芦神祭 十四日　博多祭 十七日　上総波祭 十七日
社摩御祓 大坂　上総波祭 大坂
天満祭 十五日　住吉祭 十五日　月次祭
光岳子日 十四日　楊立祭 十五日

○七月

うらやま祭 十七日　祭霊祭 十八日

○八月

天神祭 三日 堺　水村祭 三日 大寺　小地祭 四日
白鬼の開帳 十五日　敷賀祭 十日　志賀の海祭 十五日
宮浦祭 十五日 長つ　宮佐祭 十五日　紅葉祭 十五日
菱大臣祭 十六日　祭灵祭 十八日　西尾祭 三十日
栗名祭 十八日

○九月

泉涌寺舎利会 合　祇園祭 九日 祭アリ
岩倉祭 十五日　小倉祭 月　長崎祭 十五日 東山
城南宮祭 九日　猿成祭 月　山口祭 中午 因幡

上総波祭 九日 大坂　元庵祭 十五日　本願祭 十四日
小山祭 九日　味村祭 十七日　唱殿祭 九日
白川祭 十三日　天王寺一条會 十四日
一の宮祭 晦日　天王寺絵踏灌頂 九日
福王天 八日

○十月

○十月

宗像祭 上卯　三宝荒神 中酉　御祭 十七日
掛多 十七日　長月陵祭 十五日　長月祭 上卯
杜牛祭 中卯　中山祭 上卯　桑川祭 上酉
山科祭 十日　日吉祭 時祭 中申
道陸神祭 十六日　加茂祭 時祭 下酉
宇賀神祭 晦日

○十二月

吉田大祓 美多
大酒宮開山祭 十二日 大灯祭　五条天神祭 晦日　宗勝寺灌頂 十五日

十二月の名

陬正月　如二月　寎三月　余四月

皐五月　且六月　相七月　壯八月

玄九月　陽十月　辜十一月　涂十二月

四季の調子

雙調春角　黄鐘長徵　平調秋高

盤渉冬羽　壹越土用在四季宮

同五色

青春東木　赤夏南火　白秋西金

黒冬北水　黄四季中央土用

示ノ仙ヒ法

表六句五句め月　裏十二句七句め花

名ゐ表十二句十句め月　名ゐ裏六句五句めも

右二折　表ト裏ハ一折ト云

百韻

初表八句七句め月　初裏十四句九句め月

二ノ表十四句十三句め月　二ノ裏十四句十二句めも

三ノ表十四句二ノ表ト同じ　三ノ裏十四句二ノ裏ト同じ

名ゐ表十四句三ノ表ト同じ　名ゐ裏八句七句めも

右四折　花四ツ月七ツ

四十四

百韻ノ初折ト名ゐノ折ト合四十四句

右二折　花二ツ月三ツ定メ百句ト同じ

百句ノ二ノ折三ノ折をめくるなり

七十二候

百句ノ初折ト二ノ折ト名ゐト合タルヒ

右三折ニ花三ツ月五ツ定座百句ト同シ
百句ノ三ノ折とめきゝうゑく

源氏

表六句五句め月　裏十二句七句め月十句め花
二表十二句十句め月　二裏十二句　ぬ表ト同シ
名ぬ表十二句二ツ表ト同シ　名ぬ裏六句五句め花

右三折ニ花三ツ月五ツ定座歌仙ト同シ
采女　八十八句

ぬ表八句十句め月　ぬ裏十二句七句め月十句めも
二表十二句十句め月　二裏十二句　ぬ表ト同
三表十二句二ツ表ト同　三裏十二句　二裏ト同
名ぬ表十二句三ツ表ト同　名ぬ裏八句　七句めも

右四折ニ花四月七ツく

一餘興のゆゑ此古八句き半ばの紙いつの法ようう百句の発句なゝで

発句のおかい歌とゝ句ゝを抜で表八句表十四句月花等ちり姫おもの百句ぬ法式めも遠へどゝて百句ぬ抜び沢で續二百句めるひハ續三百句と呼

百句三一句ゝ折も余興ニハ又如ス

此余興ゝ法ようう二句去三句去の折八式ニ抜五句去七句去面去折去折皆ゝ去句去めてもとゝし

同字別吟　日月字

御酒ニ御　田嘉ニ田　太夫ニ大
志賀ニ賀　仙蓋ニ蓋　代官ニ代
関白ニ関　南云ニ南　防風ニ防
傘ニ庵　一二ニ二　度ニ度
半天ニ半　紙衣ニ衣　代物ニ代

怪重 重ハ 行ニ行ク 今日モ
由来ニ 由来モ 由緒モ 拵ニ 拵子モ
戦ニ 戦モ 戦モ 春日ニ 春日モ 中凡ニ 中モ
人の目ニ 秤目モ 丁目モ 天目ホモ

式の数。此ハ文字の数ハ
ゆ別吟よめ〳〵さるあり是と
名所 国名 五名ホ或ハ官名 苗字
人の名などに呼フ時ハ名所ニ
あ辺より山ニ〳〵丈の
神とのゝ〳〵奈八幡 多人し

名ものゝ
家ト家 おとを略ずとゝも
家ニ 家ニ 家ニ 家の子モ 家格モ
各名ものと名ゆて三日ものあり

朝ニ 朝日山 星ニ 星平目 神ニ 神子
乾ニ 乾 紐 呼ニ 呼子多 紅ニ 紅
鶏卵ニ 鶏卵花 蘭ニ 蘭奢侍
雲ニ 雲足茶 墨ニ 墨壺奴

名ものゝ 黒文字の出ホ
よりゝ別吟よめ〳〵ばよ〳〵
味イ〳〵〳〵ぶし

一古代より表の内ひ末ハ中に
古人の名のゝ字賀 公家 武家ハ
歌人 儒者 医 町人 百姓 旅芸
猟人 神祇 教 恵 遠 遠
気 傷 よ〳〵ぶ古人の名表の内
〳〵〳〵ぶいまをぶ〳〵
又名ホのゝ神戸 恵 遠 遠
名ものゝ名ホ奇国名 町 那

表の内同断

又諸仲の内同断

色紙巾短冊法

色紙ハ袋しゝ半さくちらしゝハ
前條摘なし如ムかよさとうべし
字数ハ黄人壁に半の字ハ壁に
形成ハ書ハせられし筆法
わうとゝいくる事なるべし
名字ハ名字ハ名字の法朱下押つゞ
短冊ハ三ツよ形上一ツか一ツ
う法数を附ハ上一ツ
上一ツ分の形同より
一寸程ゝ名字この書
雲紙の短冊法紙よハ
法を下進者ハ



概筆一ツの事

概筆に文人ハ雅ふ冊法
多てハ勤りて又功ハ
とゝ新
うん古日ハ宗通日
ゝ中ゝ
元人ハ色紙
成ハ人
中ゝ
白ゝ
ゝ
ゝ

下[illegible]宗匠なるひと
連中席さきまりて末席へ
出一礼しゝて文盤[illegible]
たの勝を立信紙ハ[illegible]
書文盤より[illegible]
宗匠或ハ[illegible]
を始めて無所[illegible]
ちこゝ[illegible]
[illegible]
分[illegible]
[illegible]
[illegible]

梅何とよるべきトハ　梅音トをひて洲ニそなぞらへ
蛸何とよるべくトハ　蛸蟹と書ひあるを句洲ニそ
余ハ准ずべきものなるべし

何と上ニ置名ハ　上ハ紙トニ
何と下ニ置名ハ　下ハ紙トニ
一字義訓トハ　香を牧ト取ル
二字返音トハ　養と蚕ト取ル
三字返音トハ　硯を狸ト取ル
二字中略トハ　紙を拝ト取ル
除偏　添偏　借音ハ文字取リ
余ハ古書ニ見ル如ク略



## 篇序題曲流

篇ハ　人を訪ふ如ク
序ハ　次第ニ述ル如ク
影ハ　ひかるに来るとの如
曲ハ　ゆがみ折しなるとの如
流ハ　いとゆきのてを流るるまま
篇序題曲流の二ツハ大和めるの如
曲流の二ツハ仮名ばかりの如
春ゆく　篇　夏きにけらし　序
ちはやぶる　曲　衣ほすてふ　流
なのりそのかをる山　流

歌こゝに詠るゝ篇序題曲流と
詠ませたまふもとえうとえ句ふ
篇序題のつゝゝゝ下の句曲流
なるしわゝ下の句篇序題よく
それ句曲流なるもあゝ一句篇序
題よて四句もよ曲流なるもいかゝ
うき世なるゝ山ゝ月ゝ雲乃風
ふるゝ雨になるゝ雨の月
けゝき世なるをいつるを四句よいひ
のべゝるゝ又序と分ゝくとあるさ
ゝる有もあゝ
ほゝきれなくやゝ音のゝやゝのゝま
あやめをゝぬ逢をるれ
是はあやゝもゝぬとゝいゝんゝそゝなゝく
といひけゝるゝ非議みゝをけゝ河の
ゝとゝゝ詠ひゝ元ゝ下れ句、



曲流のゝあゝハ上の句と篇序題
とゝなゝしてひあ下の句篇序なる
ゝあゝハ上の句曲流にあゝていひ
流して下の句よゆゝゝ下の句を
ひゝなゝして上の句よい句へゝ
いひけゝるゝ句よハ感情秀逸句
なし
又ゝ文ゝ文ゝとゝあゝ
文とハ
花をゝゝゝゝとゝひけゝを
あゝゝゝゝゝゝゝゝとかゝれ
なゝいひあゝハゝゝ
ゝゝゝゝゝ
ゝ文とハ
月乃あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
といゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

定家卿を心敬僧都と有文の
[illegible]を法然上人
[illegible]

但つねにすくなく
[illegible]
[illegible]
又いひ出しぬる
[illegible]
[illegible]
よんでもしらぬ味
[illegible]

六義

古今の序にそもく奇妙なる海
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一風流人家

此ハかるさうえん孫も初ま
えてハ京西南ふとちうこ
やうまの白紙そんといいで
それとちうこまるくいて汚ふる白
一天よりはるのよ衣や花ちる雲
ぬうう第ハ唄にもう掛物

二賦かう人家

ものらうれうぐいあ毎掛く
なうくいつて

までなし一萩蘇鷹巣樹梭
鍛汁や都乱用人ちう世で
三比ちうらう人家

物をそれうれとうれとうれ人会せ
ちうれう孫夫白よいひけうう



物枕の柳ハうぶのうちう川武
下ちに立ん事乃香車脇の

四真たう人家

物毎よゆつうきうるものと
たう人てて真わる孫成古事
古ふものとりえて立こうらくう
壁言喻の白抑人

皆人の立夜の接やう雅
夜ハまし事もそれ十ちや白牡丹

五雅ちてこふ人家

物にうそのそうくとせん
真わるる孫さわうぶ古事えて立
木壁言喻の白抑にわうに
うう一めうたうまぐ
すうくとやうるうて

わすれぬ中ぞ落る涙やそのまゝ
なにとなくもつれ捨くる川柳

六頌いろ〳〵奇〳〵

世をうめて作り法くるこ
又須頌といふあり是を
歳旦なり

風流も知よのとしの
ときの年

恵う代八蓋山陰まて
門乃松

右六義のうち雅俗を兼ること
一線をへ一活連誹ともに
いやしくもうり今に代〳〵変用と
なる一端〳〵



古今諸家之発句

古哲之句

川端で信濃めわせかを手ゝ柳　長頭巾

花の雪紙衣で洗ふ山路哉

月素の秋追ふ名乃友えうか

ゆくと思ハつゝ見るや夢ゝ

志ゆゝしハ何と書乃花の色

凉さと未廣ゝ雲の嶽の訪

和と和とにしゝ有ふ柳ふ

坂門の定高ゝ雲ゝ秋の夕

妹の窓ゆゝ提て実世哉

吉野ハ春ゝ世ゝ桜ゝ

ゝゝや敷ゝ変ハ行くと花の雨　素音

名ばかりなる柳も八幡の月　中武
歩みなく八幡とて寺院に詣ず　宗鑑
花の香やとばかりなる御掛　貞室
牛の爪の別まてと金言葉　仝
参りつれはまた御掛て落ぬ　仝
月よいまこころとなる八幡の風　西武
さかりなるなのとなれ花ばかり　立圃
庵を生けて咲うれもなる柳哉　仝
うくひすと幡の歌や歌あはせ　仝
花の無いうれしうれしのそて　李吟
花を知る宮とは思へばなる柳　梅盛
杖始の梅やはしのたくりは　維舟
切月よちくしの宿あるもの　安静
未の世といはせぬものいろ書　貞徳





綱ハ法ハ定めぬ里とあるそふの月　西霍
とのつゝ号流や薗そん竹　望一
花とゆり柳や爰乃世とのの　ステ
世の中や幡くとゐれかくれ　宗因
里人のつてゝいふ鶴のしも　仝
る合ねちおれ人神とれし　金富
常住るくと淀ふ安らて神対面　宗旦
いきれてゝ人中アもん山さんに　一秋
何のくてゝ月まゝるれも　如泉
上へとゝ八へ忘とゝ山の花とる　幽山
よろきくと帆柱をゝ入れる　湖春
いく月やとおりまちてゝ志　玄札
花見ゝ流ゝ流ゝ流ゝ抗ゝ林ゝ　信徳
西の日ハ門提てゝ杜ゝ　仝

なでしこや女の月見の雪　仝
袁来ゝ其ゝ只一川ふの一つ哉　芭蕉
面白ふて涼て遊ぶ精舎哉　仝
あらくとはいはじ雨も燈の内　仝
雨ふりて梅のきけやゆかの山　其角
代人は舟をまはれ源氏あれ　仝
ゆきゝゝハ絵図板式いのちゝる　仝
青嵐宝形堂に苗ゝい病　嵐雪
山と川と坊ゝとよりふの月　仝
天ゝゝや紙よりゝゝ芝の桶　仝

発句切字の事

和歌のてふをいて発句の切字と名つけ古哲より連歌よりひきつゞきて発句も発句の義なるゆゑ和歌の家や

哉　や　又　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
なる　なれ　なれ　なれ　なれ　なれ
なれ　なれ　なれ　なれ　なれ　なれ
なれ　なれ　なれ　なれ　なれ　なれ
なれ　なれ　なれ　なれ　なれ　なれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夕日和ゆるしハ為とう柳色　貞利
蓑を絶まれ上戸よりぬれ藤蓋　貞山
うゆう竹ゆの姿や花の蝶　蒼
袖衣ハ松よりかゆく花芳ゆ　有賀
道化ものよハ里もと根岩の林　仙芝
ずうくと花ハ咲て雨蓋　淵貞
雨とうり日和とうぬ蛙ゆ　松里
山くの夜ゆ花や海の上　一歩
一行の手ゆ芳ゆ蔦ゆ蔦　貞山
松川ゆ花ゆ之と離て竹遠ゆ　岡山
松島へ笑ゆ笑ゆ笑ぬ　蓬山
谷水のゆうさうも柳ゆ　芦鶴
まひ子のゆくゆくすゆ　相里
ゆこゆくゆ酒のめゆ柳ゆ　西湖



何くゆくゆ花ゆ川柳　貞山
仏縁や曲ゆ弁とゆ柳　指月
日高りゆ柳ゆ柳ゆ　桐紅
ゆうゆの上ゆ庵ゆ糸柳　涼山
柳ゆ女師迎ゆ牛　柳子　貞賀

麦之部

雑撞でゆ海ゆ麦と　貞至
池ゆゆ彩と　久芳
麗ゆし恪気ゆ麦　相里
松ハゆ紅人ゆ紅　貞露
ゆゆや麦ゆ茨子　貞山
ゆゆハ松ゆ麦　有賀
白瓜ハ麦ゆ麦　貞奇
世中の麦ゆ麦ゆ　芦管

河豚汁そこなふあらんかなや　負国
豆腐や四腸の外と汁垣内　晴仙
佛さはりつゝぎとほのとそゝ弥　負橋
蓮の葉と絵ゝ猪ゝく蟹哉　芦邑
降さうか来る海さうな河豚　負利
浦安の玉乃川利さや神鶏　湖嶺
町中と暮ゝまそ切蕎弥　鳥山
松嶽へ紅ゝく帰る拾ゝ羽　負雨
鳥乃宮ゝ雁と寝ゝ安ゝ五　芦雁
啼き立や後ゝ山ゝ蝶よ蝶　負玉
一度と寝ゝ中の花咲よりう　松雨
峯ゝ松ゝ歌ゝ集るゝ弥　負山
異体のそゝうぐゝづゝ蕎弥　芦洲
弁の玉や鈴の宮ゝ鶴ゝ　芦筐

細布のおそゝぐうや垂粽　負賀
鶯ゝ山ゝ鶯ゝ弥ゝ神茅　山賛
雀と云ゝ松の下　蒼鳥
本の鶴の仇ゝ花ゝ浪ゝ　負山
そゝの光ゝ紙ゝ光ゝ新花　芦鶴
夕立ゝ清ゝ人ゝ雨ゝ光ゝ　相業
車温泉ゝ敬ゝ山ゝ海　負竹
見ゝ初ゝ松ゝ駅ゝ竹ゝ花ゝ　芦魚
猿人の蕉ゝ雨ゝ牡丹ゝ　松翠
光ゝ木ゝ花ゝ雨ゝ八牡丹ゝ　蒼翁
夕涼ゝ山ゝ雨ゝ山ゝ花ゝ　負漁

秋之部

ちゝはゝと燃ゝ山ゝ雑掛　雁山
初穂ゝ元要ゝ山ゝ　負奇

五六町ばかりまぬ程の高く松　志松
呉竹の初けふこゝ帖蛤　負玉
淋しさはうくと一夢亦　南溪
さのふ社ふこゝ燈よ松の夢　負剌
夕雲と酒よ数ん初の雨　菅管
湯豆腐と共ふ[illegible]る初霜　湖鳥
青丸酒醒て長汀出ちゃ　延山
行秋ハ淋へ過ぎて[illegible]　負雨
夏櫻や妹うゆくむ粕立　有貫
松蔭の[illegible]芭蕉　負賀
宿成て淋うちう[illegible]　其丸
燈[illegible]月[illegible]　負全
名月や夏と[illegible]　負国
第遠の海と[illegible]　蕎角

方丈に八千坊[illegible]　負甫
波消一致の嶽く横[illegible]　弗山
提灯や十二三[illegible]　負山
花見訪一里[illegible]　周盈
[illegible]　芦英
橋と遠の嵐[illegible]　桐和
[illegible]　渕柳
[illegible]　負山
帖蛤ハ時[illegible]　芦沼
敏[illegible]　負漁
鶴の名[illegible]　負橋
[illegible]　負山
[illegible]　負山
[illegible]　負山
[illegible]　負山

朝八神の歌よと表なり　負竹

冬之部

関寺の酔醒せる湖の面　負谷

深雪れ雲はたちそう神河原　山雨

牧鹿ふるれ人のちうふ　山色

歌舞よふ云と云と鶴の声　悦山

神寺やうぐすし湖の清仏　負賀

晩鐘とこゝろ清てむ時雨　負竹

一つ家れ枯野をそう晩来部　負漁

時雨の傍る隣さ小鴨の船　陽山

山くもら別れや久く本立　如山

住つゝと火縄の情古や網代　旭山

その沿へ蓮花代ハ彩居ふ　負山

昭方れ浪よ生るこゝの名ハ　松仙





枯八代川とわりの枯野原　芦蝶

二文ハ山さ岩竜の名さう　桐之

探上げく神寺の鐘の尾燈　負山

着多城こゝ河の落ふ　山鬼

堤内や雨ぬ七夕老の　負至

陸ふへ月の雨ぬ老の　芦葉

行枝へきこゝろ鶴河岸　周賀

十月とちうでこゝ岩俵　負山

本指や住しくて松の夕　拝子

雪中とハ絶へ巨燈　調水

下枝月ところ岩蔵部　芦桂

滝れ新とあく水河畔　三色

山の鶴へ入れ月林の落ふ　延山

恒山

紗吉や埋まい物ぶ作ルまつよ　有賛
紀の国ひろくなり葉ル　星山
水ぶくこけバ動く蓮ル　蓮管
水紀ぶ名勝の蓮さ作ル　夏山
風流人ル書さ作ル　芦雁
夏清の松の下葉ハ付ル　芦舟
蓮葉ル作ル蓮ぶ作ル　貞利
この蓮ヒ社ハ蓮ぶ　貞玉
蓮とし知れぬ蓮や蓮ル　貞国
蓮葉の美蓮ぬけ蓮ル　貞橋
蓮葉の蓮ル作ル蓮　蓮翁
ぬすの蓮ル作ル蓮　貞奇
蓮の蓮ル蓮ル蓮氷　貞山
枯蓮の蓮蓮ル　和歌の浦
蓮府の松ハ蓮ル蓮　貞都